

# 戦争のための基地は必要ありません



アメリカいなりやめて!  
基地撤去こそ解決策



自民党政府は、戦後80年余、米軍基地に苦しめられ続けた沖縄県民に対し、新たな米軍基地建設を押しつけてきました。宜野湾市の市街地にある米軍普天間基地の移設という名目での、名護市辺野古・大浦湾の美しい海を破壊する新たな米軍基地の建設です。30年前に持ち上がったこの新基地建設計画に対し、沖縄県民は保守・革新・中道の政治的立場を超えた「オール沖縄」の反対運動を繰り広げ、県知事選挙や県民投票でその民意を示してきました。

在日米軍基地は日本を守るためのものではないということは、米国防長官や元幕僚長なども公言しています。実際に、先のイラン攻撃でもその出撃拠点とされました。

基地建設ストップ! 軍拡反対、税金の無駄遣いやめろの声を、沖縄県民とともに全国であげましょう。

## できない公共事業—— 完成見込みない新基地建設 の費用は日本の税金で

大浦湾側の広大な軟弱地盤の改良工事は一向に進まず、辺野古新基地建設の完成の見込みは全く立っていません。進捗は今も土砂投入予定の17%程度。一方で、税金は政府予定費用(9300億円)の7割を投入。完成までに何兆円かかるかわかりません。

大浦湾の地盤改良工事のための砂杭7万1000本の打ち込み作業は遅れに遅れ、さらには水深70~90mに広がる軟弱地盤を固める技術はなく、環境破壊を進めるだけの暴挙です。

## 普天間基地 返還しない可能性も—— 新基地建設「危険性除去」の名目もうそ

「世界一危険」とされる普天間基地問題の「唯一の解決策」として進められた辺野古新基地建設。しかし、米政府は仮に新基地が完成しても、緊急時に米軍が使用する長距離滑走路が確保されない限り、普天間基地は返還しないとしています。新基地建設の名目である「普天間基地の危険性除去」がうそであることは明らかです。基地建設は直ちにやめよの声を、沖縄県民とともに全国であげましょう。

戦争反対、沖縄を戦場にさせない平和の声を  
——9月沖縄県知事選挙へ——

高市政権は沖縄を軍事要塞化し、戦場にしてでも、アメリカの戦争に協力する姿勢を露わにしています。9月13日投開票の沖縄県知事選挙で、米軍新基地建設ノー、憲法守れて頑張る玉城デニー知事勝利のために、全国の支援を強めましょう。



普天間基地の無条件撤去・辺野古新基地建設中止を求める署名にあなたも!  
沖縄県知事選挙(9月13日投開票)で新基地建設反対の民意を——ご支援をお願いします  
支援募金の送り先: 沖縄県統一連=郵便振替口座 01710-8-62723



日本平和委員会

2026年8月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(月2回刊)、「平和運動」(月間)発行中  
<http://j-peace.org/> (X) (F)

